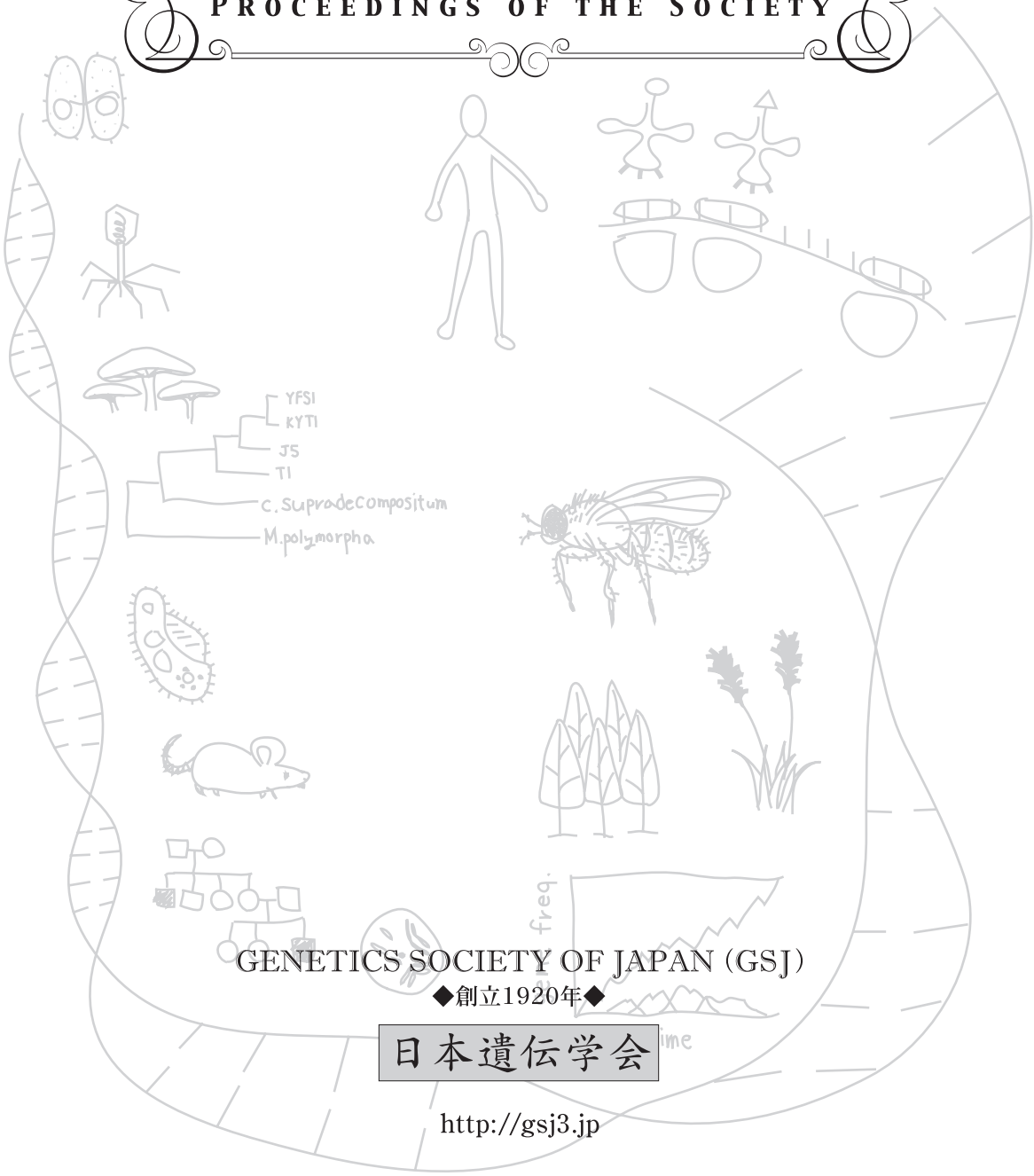
SUPPLEMENT TO GENES GENET.SYST. (2014) 89 (6) December 2014

GSJ コミュニケーションズ

PROCEEDINGS OF THE SOCIETY



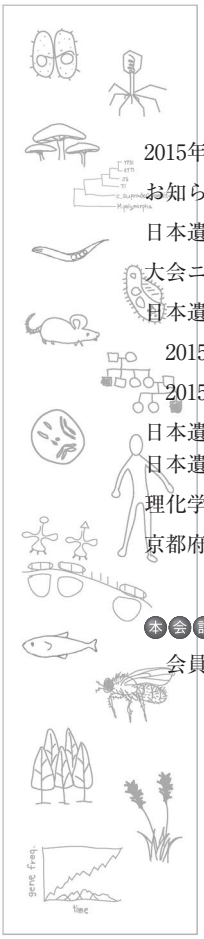
GENETICS SOCIETY OF JAPAN (GSJ)

◆創立1920年◆

日本遺伝学会

http://gsj3.jp

GSJ
コミュニケーションズ
89–6
日本遺伝学会交流誌　GGS 付録
2015年 4 月28日発行



目　　次　　頁

2015年度日本遺伝学会年会費ご納入のお願い …… 3
お知らせ …… 3
日本遺伝学会第87回大会へのお誘い　西尾　剛 …… 4
大会ニュース（その 2）…… 5
日本遺伝学会木原賞および奨励賞候補者推薦のお願い …… 6
　2015年度日本遺伝学会木原賞候補者推薦書
　2015年度日本遺伝学会奨励賞候補者推薦書
日本遺伝学会第86回大会　収支報告書 ……11
日本遺伝学会第86回大会を終えて　池村淑道 ……11
理化学研究所　准主任研究員（定年制職員）公募 ……12
京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻専任教員募集要項 ……13

本会記事
　会員異動 ……15

2015年度日本遺伝学会年会費ご納入のお願い

平素より皆様には日本遺伝学会の発展に対し，いろいろとご支援を賜り，厚くお礼申しあげます．

さて，2015年度日本遺伝学会年会費を，下記郵便振替口座までご納入下さいますよう，よろしくお願いいたします．なお，年会費のご納入がクレジットカードにてできるようになりました．ご利用方法の詳細につきましては学会 HP をご参照くださいますようお願いいたします．

普通会員　　2015年度年会費　10,000円

（注）定年退職して常勤職でなくなったことを申し出た場合は6,000円

普通会員（学生）　2015年度年会費　6,000円

（注）普通会員（学生）の方は，振替用紙の通信欄に，指導教員の署名が必要です．
学生とは，学部学生と大学院生を含みます．

●郵便振替の場合

口座名義　日本遺伝学会

口座番号　00110-7-183404

●他の金融機関（ATM）から，ゆうちょ銀行の口座へ振込・振替をされる場合

***** 他金融機関からの振替口座番号 *****

・店　　名　　〇一九（ゼロイチキュウ）

・預金種目　　当座預金

・口座番号　　0183404

＊お手数料に420円かかります．

お知らせ

石井浩二郎会員が第55回東レ科学技術研究助成受領者に選ばれました．

日本遺伝学会第87回大会
大会委員長　西尾　剛（東北大学）

日本遺伝学会第87回大会を，2015年（平成27年）９月23日（水）から25日（金）まで，東北大学川内北キャンパスにおいて開催することになりました．現在，学会本部の支援を受けて，大会開催に向けて準備を進めております．

遺伝学会のこれまでの伝統を守り，本大会でも一般講演は口頭発表といたします．また，シンポジウムとワークショップを開催します．遺伝学の諸分野をバランス良くカバーすることが出来るよう，シンポジウム及びワークショップのテーマを会員より広く募集いたしますので，奮ってご応募下さい．

遺伝学に対する市民のご理解を深めていただくため，大会翌日の９月26日（土）に仙台国際センター大ホールにおいて，公開市民講座「パーソナルゲノム時代の遺伝学と人間社会」を開催します．遠藤　隆遺伝学会長を始めとした第一級の講師陣により，ゲノムの概念から，ゲノム解析技術の進歩，個人遺伝子診断や食料生産など，人間社会に関わる遺伝学についての講演がなされます．一般市民や大学生，高校生にゲノムの基礎知識と遺伝学の人間社会における重要性を伝えることを目的としておりますが，異なる専門分野に広く関わる講演会ですので，第87回大会に参加されました皆様にも，予定を一日延ばしていただいて，多数ご参加いただけることを願っております．

東北大学川内北キャンパスでは，12年前（2003年）にも日本遺伝学会大会を実施いたしましたが，ここは全学教育のためのキャンパスで，仙台駅から西へ約２ km の川内地区にあり，清流広瀬川の西側に位置します．仙台駅からはバスで15分程度ですが，徒歩でも35分程ですので，天気のいい日や，仙台の繁華街の一番町付近のホテルにご宿泊の場合は，徒歩で来られることもお薦めいたします．仙台は，４年前の東日本大震災で大きな被害を受けましたが，津波を受けました沿岸部を除き，概ね復旧いたしました．震災後，皆様方には被災地に対し多くのご支援を賜り，ありがとうございました．繁華街の中心地は，以前にも増してにぎわっており，特に若者が街の活気をもたらしています．９月は，仙台やその周辺の観光にはあまり適した時期ではございませんが，地酒や，カキなどの海産物，牛タン等，宮城の食をお楽しみいただけます．学会員の皆様に多数おいでいただき，盛大な大会となりますことを切に願っております．

なお，今後，大会ホームページ（http://gsj3.jp/）で最新の情報を順次掲載いたしますのでご覧ください．

大会ニュース　その２　　2015年９月23日（水）～25日（金）　仙台

日本遺伝学会第87回大会ご案内

先に案内致しました通り，本年度の大会は東北大学を会場に開催されます.

会　　場：東北大学川内北キャンパス
（〒980-8576　仙台市青葉区川内41）
会　　期：2015年９月23日（水），24日（木），25日（金）
企　　画：一般講演　　９月23日（水）午前，24日（木）午前，25日（金）午後
ワークショップ　　９月23日（水）午後，25日（金）午前
※一部はシンポジウム
プレナリーワークショップ　９月24日（木）午後
総会・授賞講演等　　９月24日（木）午後
懇親会　　９月24日（木）夜
市民公開講座　　９月26日（土）午後
申し込み：参加と講演の申し込みは例年通りホームページからとします.
講演申し込み・要旨受付締め切り　７月17日（金）
事前参加の申込締め切り　　８月20日（木）

ワークショップへの応募は締め切りました.
各提案の開催枠（時間帯）は下記大会 **HP** をご覧ください.

大会 HP:　http://www.knt.co.jp/ec/2015/gsj87/index.html

（お手元にこのニュース（その２）が届くころには，HP にて各ワークショップのタイトルと時間帯をご覧になれる予定です）

なお，参加費や懇親会費の支払いは，従来通りクレジットカードによる支払いと，今回より銀行振込とコンビニ支払いも利用できる予定です.
今後の HP での案内にご注意ください.

皆様ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます.

日本遺伝学会第87回大会組織委員会
大会委員長　西尾　　剛（東北大学教授）
連 絡 先：日本遺伝学会第87回大会事務局
E-mail: gsj87@ml.tohoku.ac.jp

日本遺伝学会木原賞および奨励賞候補者推薦のお願い

下記の規程に添って2015年度木原賞および奨励賞候補者推薦をお願いします.

【推薦書作成要領】

本誌に掲載された様式に従って作成してください．なお，同様式は遺伝学会ホームページからダウンロードしていただけます．いずれも用紙はＡ４判を使用して下さい.

（木原賞）候補者の主な発表論文のリストを別紙にて作成し，うち主要な論文５編３部ずつを郵送して下さい．また，候補者推薦書ファイル，業績リストファイル，論文の PDF ファイルをメールの添付ファイルにてお送りください.

（奨励賞）１．候補者の主な発表論文のリストを別紙にて作成し，うち主要な論文２編３部ずつを添付して下さい.

２．自薦の場合も同様式に従って作成して下さい.
（2010年から年齢制限はなくなりました）

また，候補者推薦書ファイル，業績リストファイル，論文の PDF ファイルをメールの添付ファイルにてお送りください.

【提出期限】

2015年５月29日（金）必着

提出先：〒411-8540　三島市谷田1111　国立遺伝学研究所内
日本遺伝学会　Tel & Fax　055-981-6736
日本遺伝学会会長　遠藤　隆

電子ファイル送付先：Email: japgenet@nig.ac.jp

＊なお，木原賞および奨励賞の受賞者には当学会誌 Genes & Genetic Systems に英文総説の執筆と，その年に開催されます大会で受賞記念講演をお願いしております.

日本遺伝学会学会賞および奨励賞に関する規程（抜すい）

（目的）
遺伝学の進歩を促し，すぐれた研究業績を一般に知らせるために学会賞および奨励賞を設定する.

（賞の種類）
1. 日本遺伝学会木原賞
遺伝学の分野ですぐれた業績をあげた者（原則として会員）に授与する.
2. 日本遺伝学会奨励賞
遺伝学の特定の分野ですぐれた研究を活発に行い，将来の成果が期待される会員に授与する.

（賞の内容）
1. 日本遺伝学会木原賞
賞状，メダルおよび副賞としての賞金からなる.
2. 日本遺伝学会奨励賞
賞状および副賞としての賞金からなる.

（賞の選考）
賞の選考は下記に定められた選考委員会と選考方法によって行う.
1. 選考委員会
全会員を対象として評議員会により選出された若干名と，これに会長が加わり，選考委員会を構成する．会長以外の選考委員は任期を２年とし，連続して２期（４年）をこえ選考委員としてとどまることはできない.
選考委員会の委員長は会長がつとめるものとする.
2. 選考方法
会員から推薦された候補者について選考委員が慎重に審査を行い，受賞者を決定した上で評議員会の承認を得るものとする．日本遺伝学会木原賞受賞者については原則として各年１名とするが，適当な候補者がない場合は授賞は行わないものとする.
日本遺伝学会奨励賞については各年２名以内を選ぶものとする.

附　則
昭和57年11月20日　日本遺伝学会総会承認
昭和60年10月14日　一部改正
昭和63年２月６日　一部改正
1989年10月14日　一部改正　日本遺伝学会総会承認
1992年10月23日　一部改正
2005年４月４日　一部改正
2009年９月17日　一部改正　日本遺伝学会総会承認

2015年度日本遺伝学会木原賞候補者推薦書

2015年　　月　　日

推　　薦　　者	
（ふりがな） 氏　　名	印
職　　名	
連　絡　先	〒 TEL:　　FAX: E-mail:

受　賞　候　補　者	
（ふりがな） 氏　　名	（西暦）　　年　　月　　日生
職　　名	
連　絡　先	〒 TEL:　　FAX: E-mail:

【略　　歴】

受賞候補者（　　）氏の推薦理由等	
研究題目	（和文）
	（英文）

【推薦理由】

（紙面不足の場合は別紙［A4 判］に記載し，添付して下さい）

注：候補者の主な発表論文のリストを別紙（紙は A4 判を使用）に掲載し，うち主要な論文 5 編 3 部ずつを添付して下さい．ここに示した推薦書に必要な情報が記載してあれば，用紙（A4 判）は別紙でも結構です．

提出期限：　**2015 年 5 月 29 日（金）必着**

提 出 先：　〒411-8540　静岡県三島市谷田1111　国立遺伝学研究所内　日本遺伝学会
TEL & FAX　055-981-6736

2015年度日本遺伝学会奨励賞候補者推薦書

2015年　　月　　日

推　　薦　　者　（自薦の場合，職名，連絡先は不要）	
（ふりがな） 氏　　名	印
職　　名	
連　絡　先	〒 TEL:　　FAX: E-mail:

受　賞　候　補　者	
（ふりがな） 氏　　名	（西暦）　　年　　月　　日生
職　　名	
連　絡　先	〒 TEL:　　FAX: E-mail:

【略　　歴】

【遺伝学会における活動歴】

受賞候補者（　　）氏の推薦理由等	
研究題目	（和文）
	（英文）

【推薦理由】

（紙面不足の場合は別紙［A4 判］に記載し，添付して下さい）

注：(1) 候補者の主な発表論文のリストを別紙（紙は A4 判を使用）に掲載し，うち主要な論文 2 編 3 部ずつを添付して下さい．ここに示した推薦書に必要な情報が記載してあれば，用紙（A4 判）は別紙でも結構です．

(2) 自薦の場合もこの用紙を使ってください．

提出期限：　**2015 年 5 月 29 日（金）必着**

提 出 先：　〒411-8540　静岡県三島市谷田1111　国立遺伝学研究所内　日本遺伝学会
TEL & FAX　055-981-6736

日本遺伝学会第86回大会　収支報告

収入の部			支出の部	
1. 参加費		1,569,000	1. 会議準備費	1,379,548
事前　一般会員	145名×@ 7,000	1,015,000	1）プログラム・予稿集　印刷・製作費	810,000
事前　非会員一般	0名×@ 9,000	0	2）印刷，制作費	257,364
	（145名）		3）通信・運搬関係費	179,244
当日　一般会員	48名×@ 8,000	384,000	4）消耗品費	17,060
当日　非会員一般	17名×@10,000	170,000	5）その他	115,880
	（65名）			
2. 懇親会費		1,261,000	2. 会議当日費	3,476,789
事前　一般会員	107名×@ 7,000	749,000	1）会場費	500,000
事前　学生会員	22名×@ 4,000	88,000	2）展示会場，会場設営費	385,123
事前　非会員一般	0名×@ 7,000	0	3）機材費	76,412
事前　非会員学生	6名×@ 4,000	24,000	4）看板・表示費	239,004
	（135名）		5）運営人件費	631,710
当日　一般会員	27名×@ 8,000	216,000	6）会場備品費	98,010
当日　非会員一般	3名×@ 8,000	24,000	7）懇親会費	1,252,000
当日　学生会員	20名×@ 5,000	100,000	8）弁当・飲料費	294,530
当日　非会員学生	12名×@ 5,000	60,000		
	（62名）		3. 業務委託費	253,000
3. 要旨集広告掲載料		380,676		
4. ランチョンセミナー費		200,000	4. 残予算	28,840
5. 展示会出展料		378,000		
6. 電気使用量		42,000		
7. プログラム・予稿集	6部×@ 1,000	6,000		
8. 補助金，その他		1,301,501		
日本遺伝学会　補助金		500,000		
長浜バイオ大学　補助金		500,000		
滋賀県　助成金		200,000		
寄付		101,310		
利息		191		
合　計		5,138,177	合　計	5,138,177

日本遺伝学会第86回大会を終えて

平成26年度の日本遺伝学会大会は，去る９月17日から19日までの３日間，長浜バイオ大学を会場として開催されました．20日午前の公開ワークショップと併せ，本大会の参加者は497名で，そのうち当日参加者は176名でした．

本大会では，一般講演153演題の他に，２つの公開シンポジウム13演題，ワークショップ18件の89演題（プレナリーワークショップを含む），合計255演題が全て口頭講演で行われました．初日の英語で行われた国際シンポジウム（Epigenetics）には約120人が参加し，活発な討論が行われました．３日目の国際セッションでは，招待講演者と国内留学生が登壇し，議論も大変盛り上がりました．18件の多彩なワークショップの中で，３日目の公開ワークショップ「合成生物学と遺伝学」では，学部時代から自主的にこの分野の研究に取り組んでいる９大学の学部生と，遺伝学会の会員が活発な議論を行い，交流を深めました．篠原美紀会員が企画した男女共同参画公開ランチョンワークショップでは文科省の片岡　洋課長との活発な意見交換の場がもたれました．

初日の夜には，例年好評のナイトゼミナール（分野別懇談会）を開催しました．大きな地ビール店を借り切り，同一会場で開催する新しい試みでしたが，当日参加を含めて全分野で115名の出席者がありました．各分野をベースとしつつも異分野の研究者との交流も生まれ大いに盛り上がりました．学生も28名が参加し，今後の若手研究者の繋がりを予感させるものでした．また，大会２日目の懇親会には約250名の参加者があり，盛大に行うことができました．

今回の大会運営は，例年と異なり地元の企画会社に依頼し，事務局と緊密に連絡を取りながら運営を行いました．参加登録・演題登録に関しては，前大会に引き続いて既存の Web 登録システムを利用し，大会ウェブサイトの作成管理についても登録システムと同じ会社に依頼しました．参加・演題登録のシステムや，大会ウェブサイトの一部には英語の画面も用意しました．参加費や懇親会費の支払いは，従来通りの郵便払込による方法に加え，クレジットカードの利用も可能になりました．

９月20日には，JSPS 科研費260028の助成を受けた公開市民講座「健康と長寿に貢献する遺伝学と情報学」を開催しました．遺伝学やゲノム科学の現状と健康長寿への貢献やその将来展望について分かりやすく解説し，また一般の方々から数多くの質問が飛び交うなど大変盛り上がる討論となりました．約60名の参加者の多くが長浜市民や学生の方々でした．これは１件の公開ワークショップと伴に土曜日の開催であり，長浜市や県内の教育機関に広く宣伝した効果もあったかと思います．

おかげさまで第86回大会および公開市民講座は無事に終了し，またそれぞれの決算および報告も10月末までにほぼ完了しました．この大会が今後の日本遺伝学会のさらなる発展の一助となることを祈っております．この場をお借りして，遺伝学会からのご援助と大会組織委員の皆様，そして遺伝学会員の皆様のご支援・ご協力に厚く御礼申し上げます．

第86回大会委員長　池村　淑道

理化学研究所　准主任研究員（定年制職員）公募

理化学研究所では，以下の要領で准主任研究員を公募します．

1．募集人数：１名程度

2．募集分野：研究分野は特定しません．応募者自身の自由な発想に基づく研究分野を開拓していただきます．

3．応募資格：長期的視野を持つ，次世代の科学技術分野を創成できる自律的研究者で，研究室を主宰するのに十分な能力と研究業績を有する方．（博士取得後10年未満程度）

4．研究資金，権限，責任の範囲：

（1）研究室立ち上げから最初の５年間で総額１億円を支給します．

（2）所内，所外の様々な競争的研究資金への応募が可能です．

（3）任期制研究員の人事推薦，基礎科学特別研究員／ジュニアリサーチアソシエイトの受け入れ，物品購入，研究資金申請，研究スペース申請等の権限があります．

（4）室員の服務管理，予算執行管理，物品使用管理等の責任があります．

（5）定年制研究者の人事推薦権はありません．（既存の定年制研究者が移籍により室員となることは可．）

5．待 遇 等：年俸制．通勤手当，住宅手当の支給有り．社会保険の適用有り．

休日は，土日，祝日，年末年始（12/29－1/3），当研究所設立記念日．その他，当研究所規程による．理研共済会（互助組織）に要入会．

日本学生支援機構奨学金（平成15年度までに大学院第一種奨学生に採用されている場合）の返還特別免除の対象職．科学研究費補助金の申請資格有り．

6．勤務形態：常勤，60歳定年．

勤務地は，研究実施上の適性によって決定いたします．

7．着任時期：2016年４月１日（原則）

8．選考方法：書類審査による一次選考の後，面接セミナーによる二次選考，役員面接による三次選考を行います．**審査内容，選考結果に関する個別の問合せはお受けできませんので予めご了承下さい．**

9．応募様式・その他：応募はオンラインで受け付けています．詳細は HP を参照して下さい．

http://www.riken.jp/careers/researchers/20150401/

10．応募締切：**2015年６月30日（火）17時（日本時間）**

11．問合せ先：〒351-0198　埼玉県和光市広沢２－１

国立研究開発法人 理化学研究所　外務・研究調整部　准主任研究員事務局

E-mail: riken-acs25@riken.jp

電話による問い合わせは受付けません．

京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻
専任教員募集要項

平成27年３月23日
京都府立大学大学院生命環境科学研究科
研究科長　渡部邦彦

このたび，京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻の専任教員を募集することになりましたので，下記より応募いただきますようお願い致します.

記

１．募集概要

本研究科応用生命科学専攻では，環境に負荷をかけずに食料の安定生産が出来るシステム作りを目標とする研究と教育を行っています．植物育種学専門種目では，植物の機能を個体・細胞・分子レベルで解析し，その情報を活用した新しい植物生産テクノロジーの可能性を探る教育と研究をおこなっています．このため，植物育種学分野での教育・研究を担当していただける教員を募集します．なお，本学科が進めている精華キャンパス整備にもご協力いただく予定です.

２．職名および人員　　准教授１名

３．所　　属　　生命環境科学研究科応用生命科学専攻

４．専門種目　　植物育種学

５．担当科目

大学院博士前期課程：植物機能特論，植物育種学演習（分担），植物育種学実験（分担）など

大学院博士後期課程：植物育種学特別演習（分担），植物育種学特別研究（分担）など

学部：新入生ゼミナール（分担），植物育種方法論，生物統計学，科学英語Ⅰ（分担），科学英語Ⅱ（分担），生物学実験及び同実験法（分担），農学生命科学基礎実験・実習Ⅰ（分担），農学生命科学基礎実験・実習Ⅱ（分担），植物生産科学基礎実験Ⅰ（分担），植物生産科学基礎実験Ⅱ（分担），植物生産専門実験（分担），専攻科目演習（分担），専攻科目実験（分担），卒業論文（分担）など

６．応募要件（以下のすべてに該当すること）

1）植物育種学における豊富な知識と優れた教育・研究能力を有し，植物の機能について個体・細胞・分子レベルでの研究に取り組めること．さらに，ゲノム編集技術などの新しい植物改良技術の研究が進められること.

2）上記授業科目が担当できること.

3）博士の学位を有すること.

4）応用生命科学専攻および農学生命科学科の理念と目標を理解し，教育，研究，大学運営，地域貢献活動等に対して意欲を有すること.

5）外部からの資金調達および研究成果の発信に積極的であること.

6）大学院博士前期・後期課程の教育・研究指導ができること.

７．着任時期　　平成27年10月１日

８．応募書類（Ａ４縦置き，横書き）

1）履歴書

(1) 写真貼付（縦４cm×横３cm），氏名（ふりがな），生年月日，現住所，連絡先住所，電話番号，e-mail アドレス，高等学校卒業以降の学歴ならびに職歴，資格・賞罰

(2) 学会活動（所属学会名，役職名など）

(3) 社会活動（嘱託，役員，委員の名称などとその在職期間）

2）研究業績関係資料

(1) 現在までの研究概要（2,000字程度）

(2) 研究業績目録

①原著論文，②博士学位論文，③総説・著書，④国際会議の審査付プロシーディング，⑤その他刊行物，⑥特許など，⑦科研費補助金などの各種研究助成金の取得状況，⑧受賞歴

（申請者の名前に下線を引き，かつ申請者が①，③，④の責任著者である場合は＊印を付けること）

3）原著論文およびその他の著作物（代表的なもの10報以内）の別刷（３部）
4）着任後の教育・研究に関する構想と抱負（2,000字程度）
5）本人について照会することのできる方２名の氏名と連絡先
なお，応募書類は返却しません．選考終了後当方で責任をもって処分します．

9．選考方法

選考委員会で審議・選考し，専攻教授会，研究科教授会の議を経て候補者を決定します．選考の最終過程で面接やセミナーをお願いすることがありますが，その際の旅費は自己負担をお願いします．

10．応募締め切り：平成27年５月18日　必着

11．応募方法，送付先および問い合わせ先

1）応募方法：書留郵便または宅配便などの配達記録の残る方法に限ります．表に「植物育種学教員応募書類」と朱書きしてください．
2）送付先：〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町１－５
京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻 教員選考委員会　宛
3）問い合わせ先：京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻

生命環境学部農学生命科学科主任　小保方　潤一
e-mail:obokata@kpu.ac.jp

備考
本学は男女共同参画を推進しています．

◆会　員　異　動◆

新入会・再入会

鈴　木　　敦	241-8501	神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5　生物・電子情報棟408 横浜国立大学大学院　工学研究院　機能の創生部門
平　田　たつみ	411-8540	静岡県三島市谷田1111 国立遺伝学研究所　脳機能研究部門
須　藤　淳　一	305-8634	茨城県つくば市大わし1-2 独立行政法人農業生物資源研究所　農業生物先端ゲノム研究センター

訃　　報

Dr. Mary Frances Lyon（外国名誉会員）　2014年12月25日にご逝去されました.（享年89歳）

謹んで，哀悼の意を捧げます.

退　　会

村田卓也，三瀬名丹，佐野尚美，能丸寛子，佐藤衣里，井上　寛，升田誠二，遠藤光義，海老沼一出，杉野絵里加，広津和子

寄贈図書・交換図書

科学	Vol. 84	No. 5	(2014)
CHINESE QINGHAI JOURNAL OF ANIMAL AND VETERINARY SCIENCES	Vol. 44	No. 5, 6	(2014)
CHINESE QINGHAI JOURNAL OF ANIMAL AND VETERINARY SCIENCES	Vol. 45	No. 1	(2015)
Acta zoologica cracoviensia	Vol. 56	No. 1	(2013)
folia biologica	Vol. 62	No. 2, 3	(2014)
Chinese Journal of APPLIED & ENVIRONMENTAL BIOLOGY	Vol. 20	No. 4, 5	(2014)
Chinese Journal of nature	Vol. 36	No. 4-6	(2014)
Advances in Manufacturing	Vol. 2	No. 3, 4	(2014)

（鈴木真有美）

日本遺伝学会会則

第１条　本会は日本遺伝学会と称する．
第２条　本会は遺伝に関する研究を奨め，その知識の普及を計ることを目的とする．
第３条　本会は事務所を静岡県三島市谷田，国立遺伝学研究所内におく．
第４条　本会に入会しようとするものは住所，氏名および職業を明記して本会事務所に申し込むこと．
第５条　本会会員は普通会員，機関会員，賛助会員および名誉会員とする．毎年普通会員は会費10,000円（ただし在学証明書またはそれに代わるものを提出したとき，あるいは定年退職して常勤職でなくなったことを申し出たときは6,000円）を，機関会員は15,000円を，賛助会員は１口（20,000円）以上を前納すること．会員で会費滞納１年におよぶものは資格を失うものとする．
第６条　本会は次の者を総会の決議により名誉会員にすることができる．
　本会に功労のあった者．外国の卓越した遺伝学者．
第７条　本会は隔月１回遺伝学雑誌を発行して会員に配布する．
第８条　本会は毎年１回大会を開く．大会は総会と講演会とに分け，総会では会務の報告，規則の改正，役員の選挙および他の議事を行い講演会では普通会員および名誉会員の研究発表をする．
　大会に関する世話は大会委員若干名によって行い，大会委員長は会長が委嘱する．大会は臨時に開くことがある．
第９条　本会は各地に談話会をおくことができる．
第10条　本会は会長１名，幹事若干名，会計監査２名の役員，および評議員若干名をおく．
1）会長は本会を代表し，会務を統轄する．
2）会長は，評議員が全普通会員の中から選出した複数の候補者から普通会員による直接選挙によって選出される．
3）評議員は，普通会員による直接選挙で選出される．
4）幹事は，会長が推薦する候補会員を評議員の過半数が承認することにより選任される．
5）会計監査は，会長が推薦する候補会員を評議員の過半数が承認することにより選任される．
6）会長は評議員会を招集し，その議長を務める．幹事は評議員会に出席するものとする．
7）評議員会は会員を代表して，事業計画，経費の収支，予算・決算，学会誌の発行，大会の開催，その他重要事項について審議し，出席評議員の過半数をもって議決する．
8）会長ならびに幹事により幹事会を構成し，会長がこれを代表する．
9）幹事会は，学会の関連事項を論議し評議員会に諮ると共に，会務を執行する．
10）会計監査は，学会の会計を監査する．
第11条　役員および評議員の任期は２カ年とする．会長および評議員は連続三選はできない．
第12条　本会の事務年度は暦年による．
付則　平成７年10月13日に第５条を改正し，平成８年１月１日から施行する．
付則　平成21年９月17日に第５条を改正し，平成22年１月１日から施行する．

Genes & Genetic Systems　第89巻６号（付録）
2015年４月28日発行　非売品
発行者　遠藤　隆
印刷所　レタープレス株式会社
Letterpress Co., Ltd. Japan
〒739-1752　広島市安佐北区上深川町809-5番地
電話　082（844）7500
FAX　082（844）7800

発行所　日本遺伝学会
Genetics Society of Japan
静岡県三島市谷田1111
国立遺伝学研究所内

学会事務取扱
〒411-8540　静岡県三島市谷田・国立遺伝学研究所内
日本遺伝学会
http://gsj3.jp
（電話・FAX　055-981-6736
振替口座・00110-7-183404
加入者名・日本遺伝学会）

国内庶務，渉外庶務，会計，企画・集会，将来計画，編集などに関する事務上のお問い合わせは，各担当幹事あてご連絡下さい．

乱丁，落丁はお取替えします．

この冊子に記載してある個人情報については，慎重に取り扱っていただきますようお願いいたします．